

公表日 2026年 3月 20日

事業所名 こばんはうすくら 新白岡駅前教室

保護者等数(児童数) 8名 回収数 8件(割合100%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	2			・人数が多い時にはどうなのか分からない。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	1		1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7			1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6			2	・専門性のある支援を受けられているかは不明。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7		1		・子供のその日の状態に合わせて対応してくれている。 ・様々なプログラムがあって良い。	
保護者 への 説明等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4		1	3		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		1	3	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8				・その日の活動の様子を詳しく伝えてもらっていて安心している。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7			1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	6	1	・週2回利用の為、参加が難しい。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1				
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8				・HUGアプリでの連絡が便利で助かる。		

者への説明等	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7		1		・前があると聞いた気がするが、どこから見られるのか分からないので、知りたい	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	2		・聞いたか聞いていないか記憶にない。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5		3		・毎日通っているわけではないため、分からない。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1	2			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7		1		・怪我等がないため分からない。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	1			・毎回とても楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	8					

公表日

2026年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 新白岡駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	・出来る限り必要最低限の物だけを置くように心掛けている。	日によって利用人数の割りに偏りがある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	4		・職員を増やしたい。 ・教室内が手薄になってしまうことがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		・危険と思われる箇所には緩衝材等設置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・毎日の清掃の徹底で、綺麗な状態を保つことが出来ている。(加湿器設置・アルコールの徹底等)	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	3		・振り返りの時間を設けていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・朝礼やグループメッセージ等で全体への共有を徹底している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・職員との個別に話を聞く機会を設けて改善に繋げていけるよう努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	・オンライン講習などが定期的に行われている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	・個々の児童に合わせて課題を用意している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		・面談や送迎時のコミュニケーションを通してニーズを把握し、分析している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	2		・個々に確認できるようにされているが、共有まではされていない。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	2		・確認できるように共有しているが、口頭での説明が足りていない時がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2	・職員同士でコミュニケーションを取り、行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・毎日異なるイベントを取り入れている。月毎の内容も変えているため、固定化していない。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		・個別課題と集団イベントをそれぞれ時間を設けて行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	・朝礼で必ず共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	5		・支援前の打ち合わせは行っているが、支援後に時間を取ることが難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	2	・定期的に行い、必要な場合には変更している。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・定期的に勉強会が行われている。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	・学校の先生が積極的に情報共有を行ってくれている。・子どもが自立を支援できる声掛けをしている。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	・日々の送迎時のコミュニケーションで、情報共有は出来ていると思う。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・随時連絡を取り合っている。		
	28	(28~30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					・参加できていなかったため、今後積極的に参加していきたい。
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	6			・児童館や公園への外出に限られてしまっており、なかなか機会を作れていない。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			・連絡帳などのやりとりや帰りの送迎時を含めて保護者に子供達の様子を伝える機会が多くある。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5				
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	・契約時に説明を行っている。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	1			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			・面談や送迎時にコミュニケーションを取る時間を積極的に設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	4			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1			・対応方法に至らない点もあるため、今後改善に努めていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1		・毎月のお便りやブログにて活動の様子を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			・お便りやブログへの掲載は顔を隠して投稿している。書面関係はシュレッダーでの破棄・外部への持ち出し禁止の徹底。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1		・絵カードや写真の使用で本人の求めているものを聞き取る等の方法で対応している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3			
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	3			・全利用者様が一回ずつは参加できていない。 ・勤めて日の浅い職員が参加できていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1		・服薬や予防接種を受けた際には、必ず知らせてもらうように徹底している。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	・保護者から聞き取りを行った上で、食事をする際に別スペースを設ける。掃除機を必ずかける等対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・記録の共有と出来事が起こった際にその日のうちに全体への共有に務めている。	・働き始めて日が浅い職員は参加できていない。 定期的には行っていない。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1		